

令和 7 年 1 1 月 1 9 日

議会報告会報告書

流山市議会議長 石原 修治 様

議会広報広聴特別委員会委員長 桑畑 伴子

第 2 5 回議会報告会の概要は下記のとおりでしたので、報告します。

記

1 日時

令和 7 年 1 1 月 8 日（土）

第 1 部 午後 1 時 3 0 分 ～ 午後 2 時 1 5 分

第 2 部 午後 2 時 3 0 分 ～ 午後 4 時 1 0 分

2 場所

流山市役所第 1 庁舎 4 階 第 1 ～第 4 委員会室

3 欠席議員

なし

4 参加者数

市民来場者 2 6 人、議員 2 8 人

5 概要

(1) 第1部

第1部では、市民の皆様へ「議会って何してるの？議員の仕事って何？」をテーマに、議会広報広聴特別委員会のうた桜子副委員長による報告が行われました。報告では、二元代表制、全国的な女性議員の割合と流山市議会の女性議員割合の比較、政党と会派の違い、会派構成、本会議と委員会、一般質問、請願・陳情、意見書提出の流れ、市民の声がまちに反映されるしくみ（議会報告会・タウンミーティング・請願と陳情、個別相談、パブリックコメント）といった項目について、1期目議員としての視点から説明がありました。

うた副委員長の説明後には議会広報広聴特別委員会の中川弘委員より、うた副委員長の説明に対する補足や、六期目議員としての経験を踏まえた視点からの説明がありました。

うた副委員長と中川委員の説明後、市民の皆様からの質問を受け付けたところ、5名の方から質問や意見が寄せられました。うた副委員長と中川委員を中心に質問や意見に丁寧に回答し、第1部は終了しました。

(2) 第2部

別紙のとおり

6 所感

(1) 第1部

頂いた質問ごとにその内容と所感を以下に記します。

質問①各会派のメンバーがどの政党所属で誰が無所属なのか分かりづらい。具体的に説明するべきでは？

➡うた議員作成の資料で会派の説明をする箇所があり、その資料の表記についての改善提案的な御質問でしたが、中川議員や渡辺議員からその場で回答がありました。

会派と所属政党の違いは、やはり市民の方には分かりづらいのだと感じました。今後も啓発が必要な案件です。

質問②一般質問などで横文字、カタカナが飛び交うが非常に分かりづらい上に意味を取り違えて使用しているケースも見られる。また居眠りも多い。税金で議員の職務を受けている以上、襟を正せと言いたい。

➡非常に厳しい御指摘ですが、市民の方からの愛のあるお言葉と受け止めました。

横文字、カタカナの使用については中川議員から、より厳密なチェックを入れるべきと議員を代表して反省の弁がありました。一方で国が政策について横文字、カタカナを使用しているため、今後全く使用しないということは難しいと、市民の方へ理解を求めました。横文字やカタカナを使用する際は、議員各自が安易に使用せず、極力日本語表現を優先し、やむを得ず使用する場合は慎重に判断することが必要だと改めて感じました。

また居眠りについては、議長から全国的な問題であると説明があり、市議会内でしっかり対処していくとの決意表明がありました。現時点でも、議会中の1分休憩や議員同士での声の掛け合いをすることで対策としているのですが、他人に指摘される前に、眠気が生じたら一度離席して外の空気を吸ってリフレッシュするなど、議員各自がそれぞれ意識を改め、対策を講じることが必要だと考えます。

質問③令和5年4月1日から全ての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されたが、未だ着用する人は少ない。議会でもこれまで4人の議員がヘルメット着用について取り上げたが進展がない。人の命に勝るものはなく、市からの助成をしてもらいたい。

➡決算審査特別委員会にて全会派共通の要望事項として、行政に要望している旨中川議員から説明を実施しました。

この案件については議員各自が、その必要性について更に啓発していくべきと思います。

質問④陳情、請願をする場合、どのようなプロセスで行えば良い

か分からない。議員に知り合いがない場合はどうすれば良いか？

➡うた副委員長から、市議会ホームページに各議員のメールアドレスや電話番号が掲載されているので、そちらから議員に連絡してくださいとの提案がありました。中川議員からは市議会ホームページの会議録に検索機能がついており、キーワードを使用し、キーワードの発言回数が多い議員に連絡していただくことも一つであるとの補足提案がありました。

質問⑤三郷流山有料道路建設に関連して、議員に相談したくても電話が繋がらない時があるため、要望、相談しやすいように電話は繋がるようにして欲しい。

➡タイミングが合わず電話が繋がらない時もあるため、確実性の高いメールやSNSでのアプローチを提案しました。

市民の方から以上のような市政に対して前向きな発言があるのは大変喜ばしいことだと感じました。

今回は合計26名の市民の方が参加されました。どなたの発言も市政にとって重要な提言を含むものでした。我々議員にとって新たな気づきをもたらすとともに、議員として今後どのように動いていくべきかを示唆する内容となりました。

また一方で、昨年度より参加者が少なかったことが残念でなりません。より多くの方の御意見を頂けるように、議会広報広聴特別委員会で議論を重ね、今回臨みましたが、結果は伴いませんでした。参加者の数が多ければ良いという話ではありませんが、より多くかつ多様な年代の方の御意見を頂戴できるような場にしていきたいと思います。そのためには議会広報広聴特別委員会で今回の振り返りを実施し、反省点及び改善点を洗い出し、あらためて一つ一つ議論を重ねていくことが必要と考えます。来年度、より多くの市民の方が参加したいと思うような議会報告会開催に向けて精進して参ります。

(2) 第 2 部

別紙のとおり